

## 8. 谷村計介碑調査地

### a. 調査地の位置と環境（第3図・第135図）

本調査地は東側にある三ノ坂上の標高 111 m の最高所から、西方向にみかん小屋周辺調査地と分派する短くて緩やかな舌状尾根斜面地の先端で、標高は 95 m ～ 90 m。西端には「谷村計介戦死地」碑や説明板がある。田原坂本道北側に隣接し、熊野座神社裏手へつながる細道が分岐する。

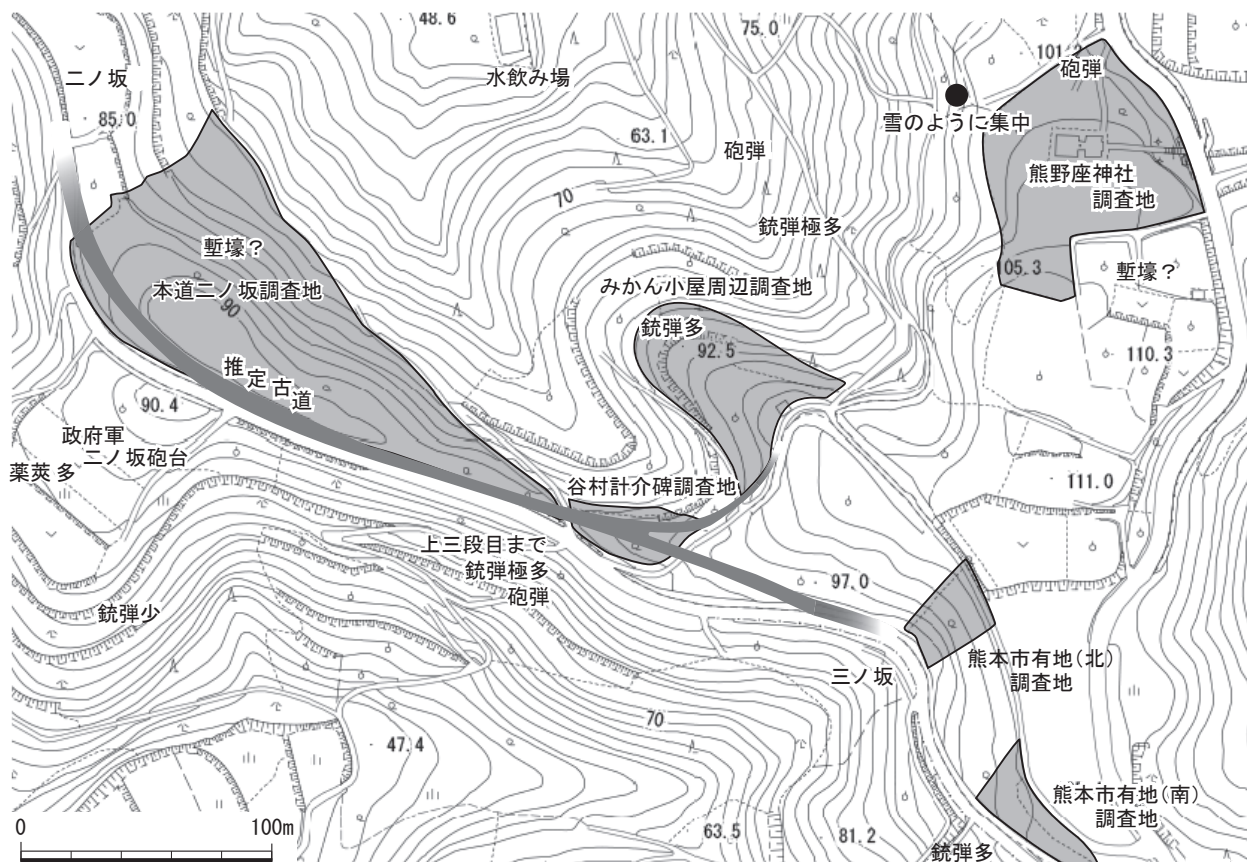
この場所は西隣する本道二ノ坂調査地との境の尾根鞍部となり、地形的にいったん途切れる場所で、下の谷集落につながる古道がその間を通る。この尾根は北と南に谷が迫るナイフのように鋭く細く狭いくびれた尾根である。南側斜面みかん畑の上から3段目までは小銃弾が極めて多く、砲弾片も出たとのことなので、南側から激しい攻撃を受けていたことがうかがわれ、北 70 m のみかん小屋周辺調査地と共に、最高所からの出先陣地として左右一体となって機能していたことが考えられる。

### b. 現地調査の成果

本調査地は石碑があるところ以外は未開墾の土地とのことで、分布調査時に東西に走る土手状の高まりと細長い溝状に凹んだ部分を確認していたので、地形測量と金属探知機調査、トレンチ調査を実施した。西半部は石碑建設のためか黄褐色地山土が露出した裸地で、東半部の腐葉土が残る範囲を主に調査した。しかし、東半部でも層厚 10 cm の表土直下は黄褐色軟岩地山で、他にも地山が表れている部分もあるので、以前に調査地の地表面は少し削平改変を受けていると思われた。概報 I・IV の調査地 B・三ノ坂調査地と同個所である。

#### (1) 遺構の状況（第135図～第137図）

本調査地内の地表面や等高線を観察すると、東半の明瞭な凹凸のほか、西半でも浅く幅広の凹部を示す等高線が走る所があるのがわかる。これは、西隣の本道二ノ坂調査地からのびる溝状凹部とひと続きの遺



第 135 図 谷村計介碑調査地と周辺調査地、古道推定図 (1 / 3,000)

構の痕跡と思われ、トレンチ調査でも溝状遺構が確認されたことからその可能性は高い。さらに東にのびるのは確実で、現在の田原坂本道に重なる道と、熊野座神社裏手へつながる細道が分岐する本調査地の以前の姿を示すものと考えられる。なお、円形の落ち込みが3カ所あり、関連遺構とも考えられたので図面に表示することにした。

土手状遺構は1条で、2号溝と3、4号溝の間にあり、幅広で高さは低く軟岩地山の削り残しで、南北からの掘削で形状を整えている。現状で長13 m以上、幅4.8 mである。

#### トレンチ調査 (第136図～第137図)

踏査時に確認していた円形の落ち込みと土手部と溝部に直交して、長17.3 m、幅2 mのトレンチを南北方向に掘り下げた。調査の結果、溝状遺構を4条確認した。北から順に1号溝、2号溝、3号溝、4号溝と呼称する。円形の落ち込みは後代の風倒木痕であった。地山は黄褐色軟質岩盤で識別しやすいが、溝状遺構覆土は黄褐色土で地山土と類似しており分層しにくい。上層は締りがなく下層には締りがある。

1号溝は幅1.35 m、深43 cmで底部は船底状に丸い。2号溝は現状で幅1.85 m、深88 cmで底面は平ら、南には幅20 cm、高10 cmと幅30 cm、高30 cmの足がかり状の段差が2段削り出されている。工具痕などは確認できなかった。覆土は締まりのない暗黄褐色土で、小銃弾が出土した。この平底部をさらに掘り下げると新たな底部があらわれて、土師器小皿が出土した。3号溝は幅2.45 m、深1.02 mで底部は船底状に丸い。4号溝は幅2.17 m、深52 cmで底部には狭く丸い部分と平らな部分がある。覆土は黄褐色軟岩地山ブロックがはいる。底部から瓦質土器火鉢が出土した。

調査当初、1号溝と2号溝は認識していたが、3号溝と4号溝は表土除去後の締まりのある黄褐色土面を地山と誤認し、それ以上掘り下げておらず確認できなかった。その後、精査すると地山ではないことが判明し、掘り下げたところ確認したものである。



調査地全景 (西より)



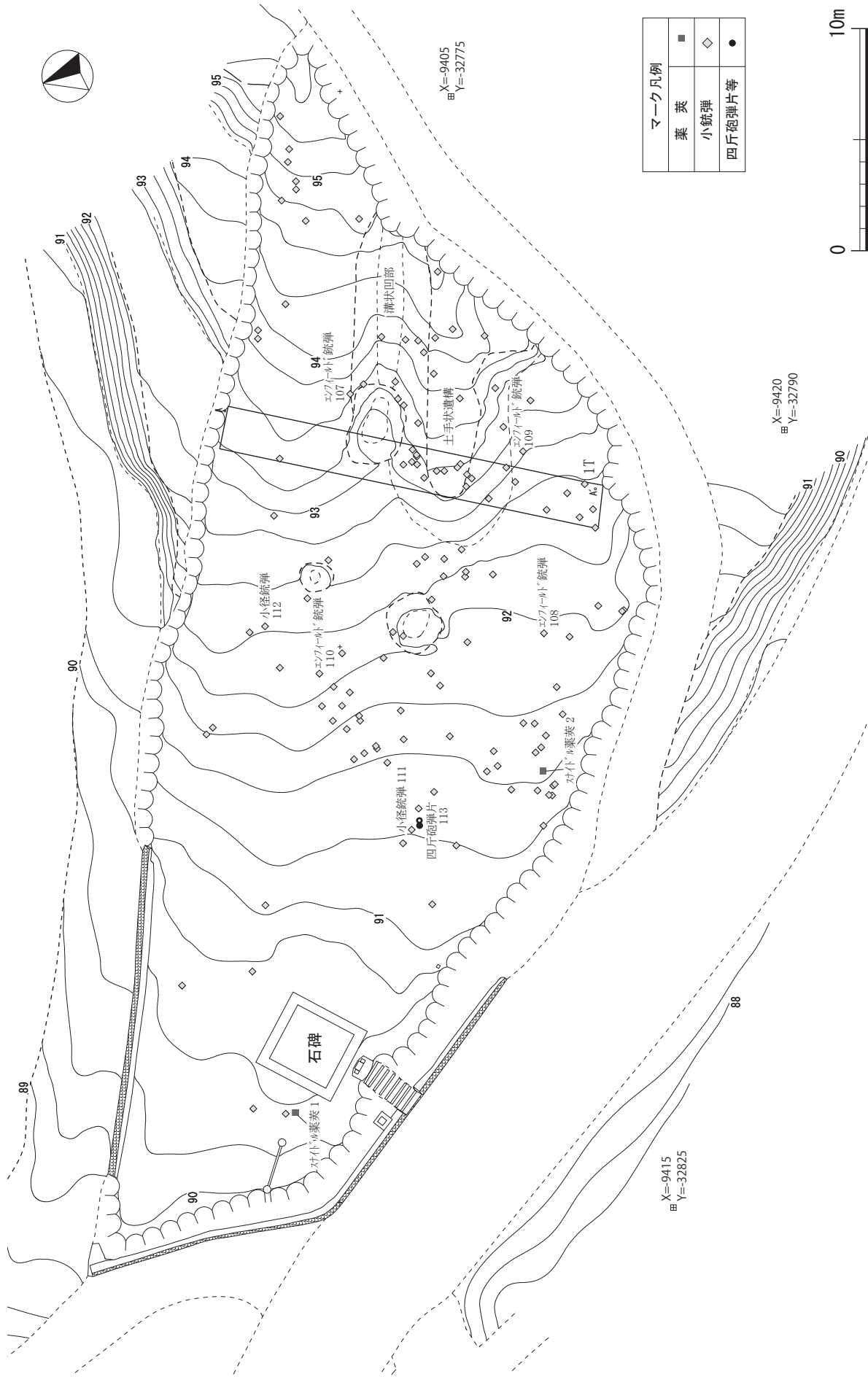
溝状凹部確認状況 (東より)



調査状況 (東より)

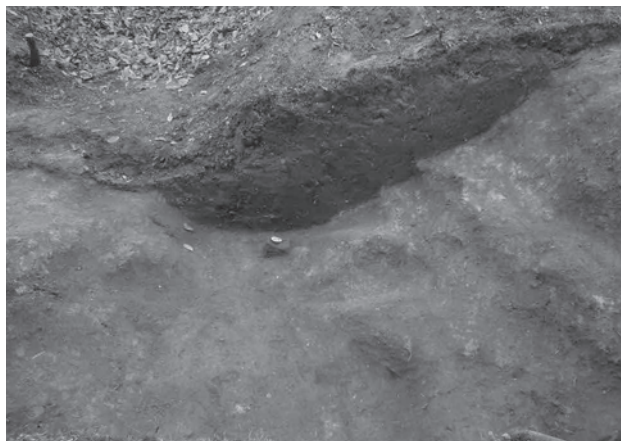
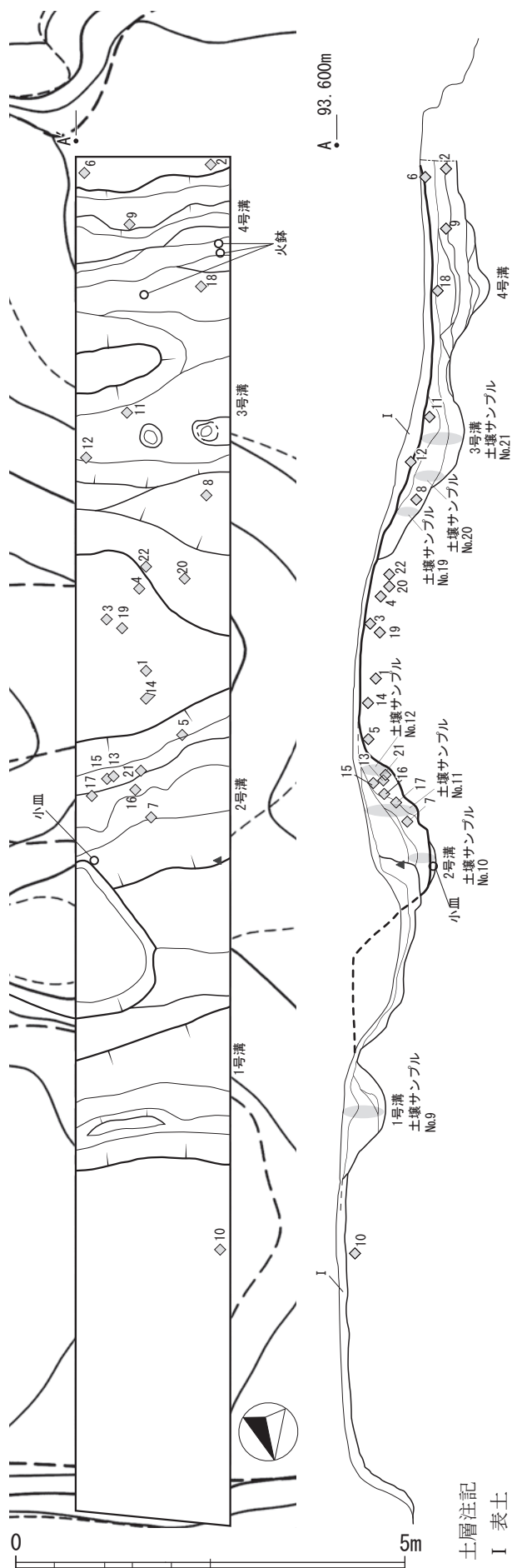


遺物分布状況 (東より)

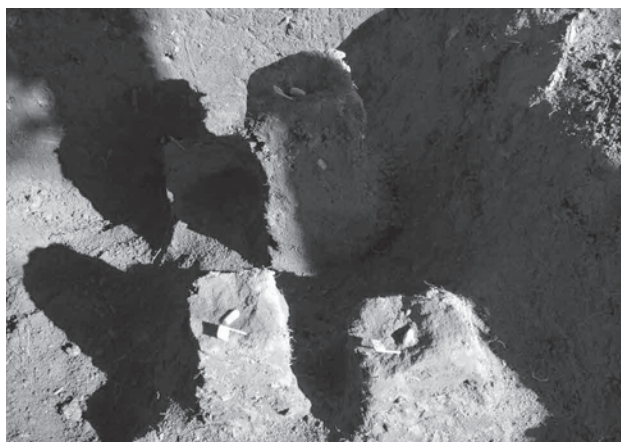


マーク凡例	
■	葉 莖
◇	小銃弾
●	四斤砲弾片等

第 136 図 谷村計介碑調査地 トレンチ位置図、遺物分布図 (1 / 250)



2号溝状遺構確認状況



2号溝状遺構遺物出土状況



トレンチ全景 (北より)

第137図 1T・遺物出土状況 (1/80)

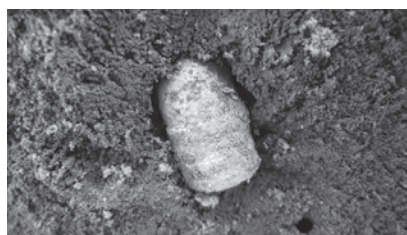
トレンチ調査で確認した4条の溝状遺構のうち、西南戦争時の遺構は出土遺物や土層断面と平面形状から判断して、土手状遺構と2号溝が該当し陣地の一部と思われる。南側の土手状遺構に稲藁土嚢を積み重ねて胸壁とし、もともとあった溝状凹部の底部を平らにして、足がかりを作出するなど掘削改変して塹壕陣地に造り変えたことが考えられる。埋没して浅い溝状凹部になっていた3、4号溝上の黄褐色土面は、胸壁築造時や戦時に踏み固められて、縮まりある地表面状になったことが推定される。

ただ、土手状遺構と2号溝は調査地中央にあり、南側谷からも北側の谷からも少し離れていて、下を直接視認できず、はたしてこの場所から反撃できるのか疑問である。このことが火点を示す薬莢や雷管、生活用具の茶碗等の出土がなかったことと関係するのかもしれない。

**小銃弾出土状況** 19は土手状遺構南側面の地山にめり込んで出土し、南西方向から撃ち込まれたものと考えられた。ほかの小銃弾は2号溝南側の覆土上～中位と土手南側に集中する傾向がある。これは南側から攻撃された状況を示すと思われ、「南側斜面みかん畑の上から3段目までは小銃弾がとて多かった」との地元の方の話とも合致する。2号溝出土では変形した小銃弾が少なく、頭部が潰れていないなど完形のものが多いのは、軟質の稲藁土嚢の胸壁に撃ち込まれたものが、後に胸壁が崩れて周辺に散らばった結果と考えられる。

(2) 遺物の分布状況 (第136図)

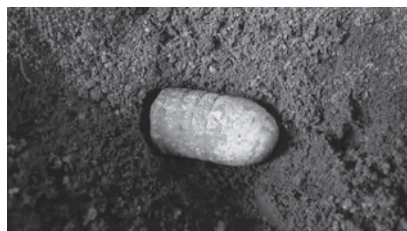
**薬莢・小銃弾** 薬莢は2点、西半の裸地で確認した。小銃弾は東半部に多く散在し、トレンチ調査のように南に集中する傾向はない。砲弾は1点で、東の熊本市有地(北)(南)調査地とは相違がある。



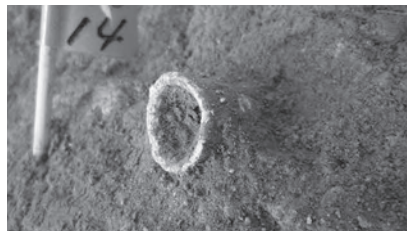
2号溝状遺構遺物出土状況 13



2号溝状遺構遺物出土状況 16

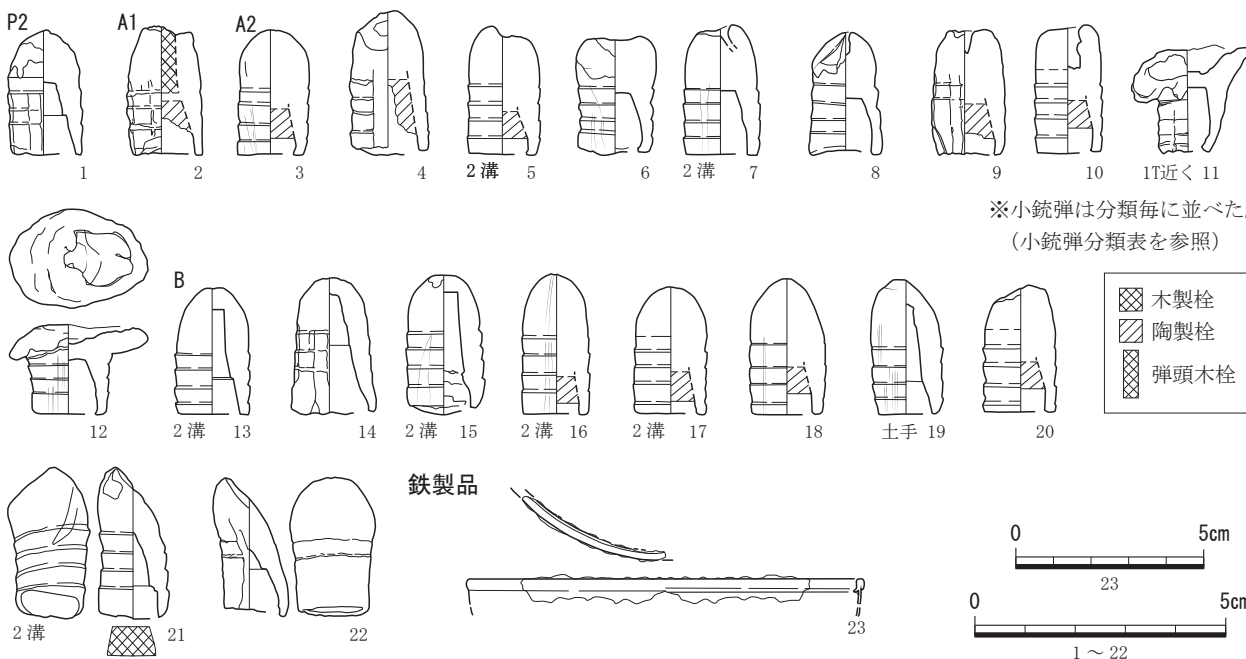


2号溝状遺構遺物出土状況 17



土手溝状遺構遺物出土状況 19

1T スナイドル銃弾



第138図 トレンチ出土遺物

c. 遺物

(1) 西南戦争関連遺物 (第136・139・140図)

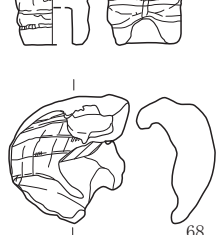
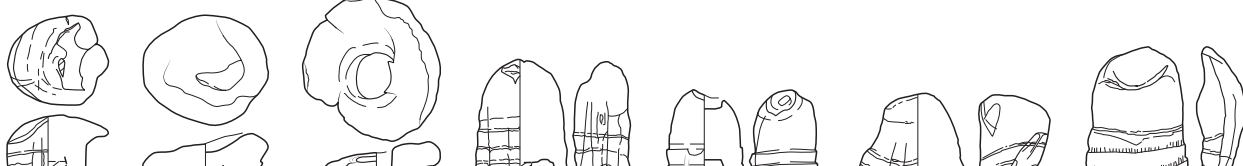
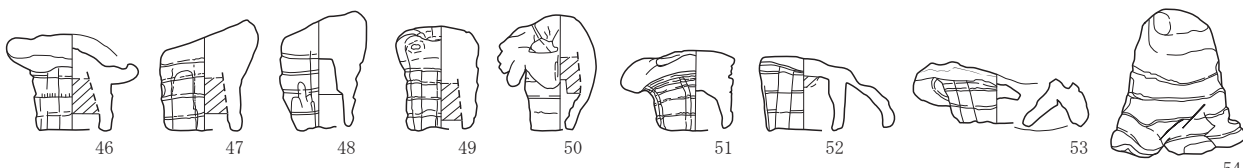
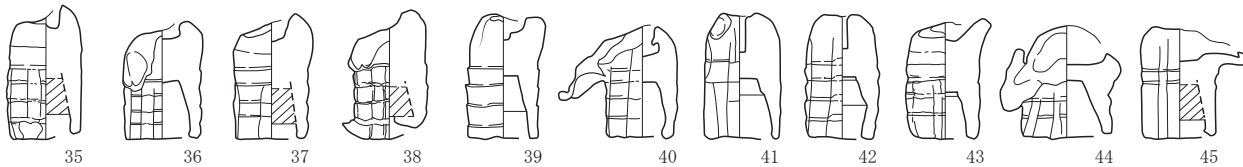
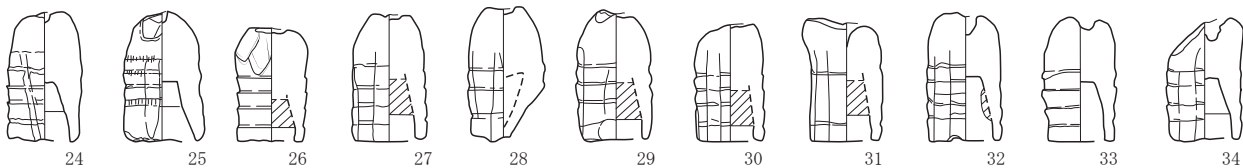
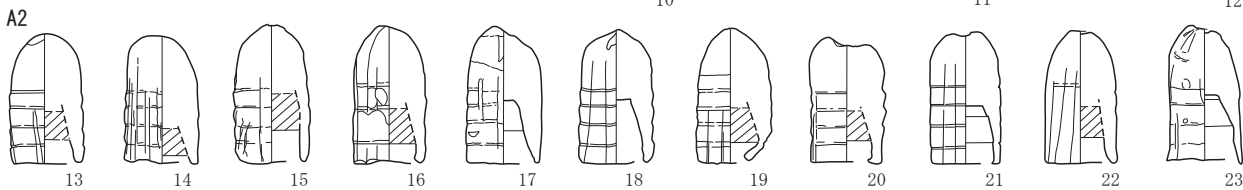
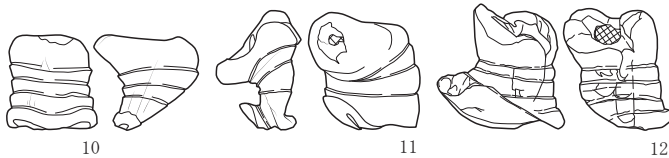
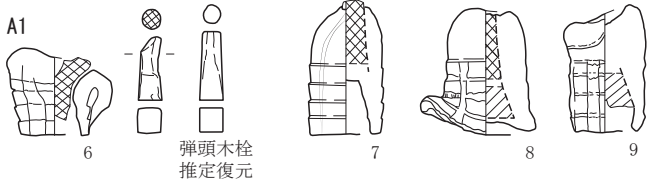
薬莖・小銃弾 薬莖はスナイドル薬莖ボクサー2bタイプで残存状態は悪い。小銃弾は合計110点で、スナイドル銃弾P3・1点、P4・2点、A1・7点、A2・56点、B・33点、小片等5点の計104点、エンフィールド銃弾4点、小径銃弾2点の各種類がある。

変形も多いが、展延状態はない。エンフィールド銃弾107は発砲時変形で政府軍のものとは考えにくい。

スナイドル薬莖  
ボクサー2b

スナイドル銃弾  
P3

P4



	木製栓	※小銃弾は分類毎に並べた。 (小銃弾分類表を参照)
	陶製栓	
	弾頭木栓	

0 5cm

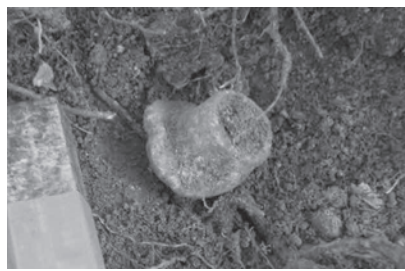
第139図 金属探知機採集遺物 薬莖・小銃弾1



スナイドル銃弾 9



スナイドル銃弾 14



スナイドル銃弾 51



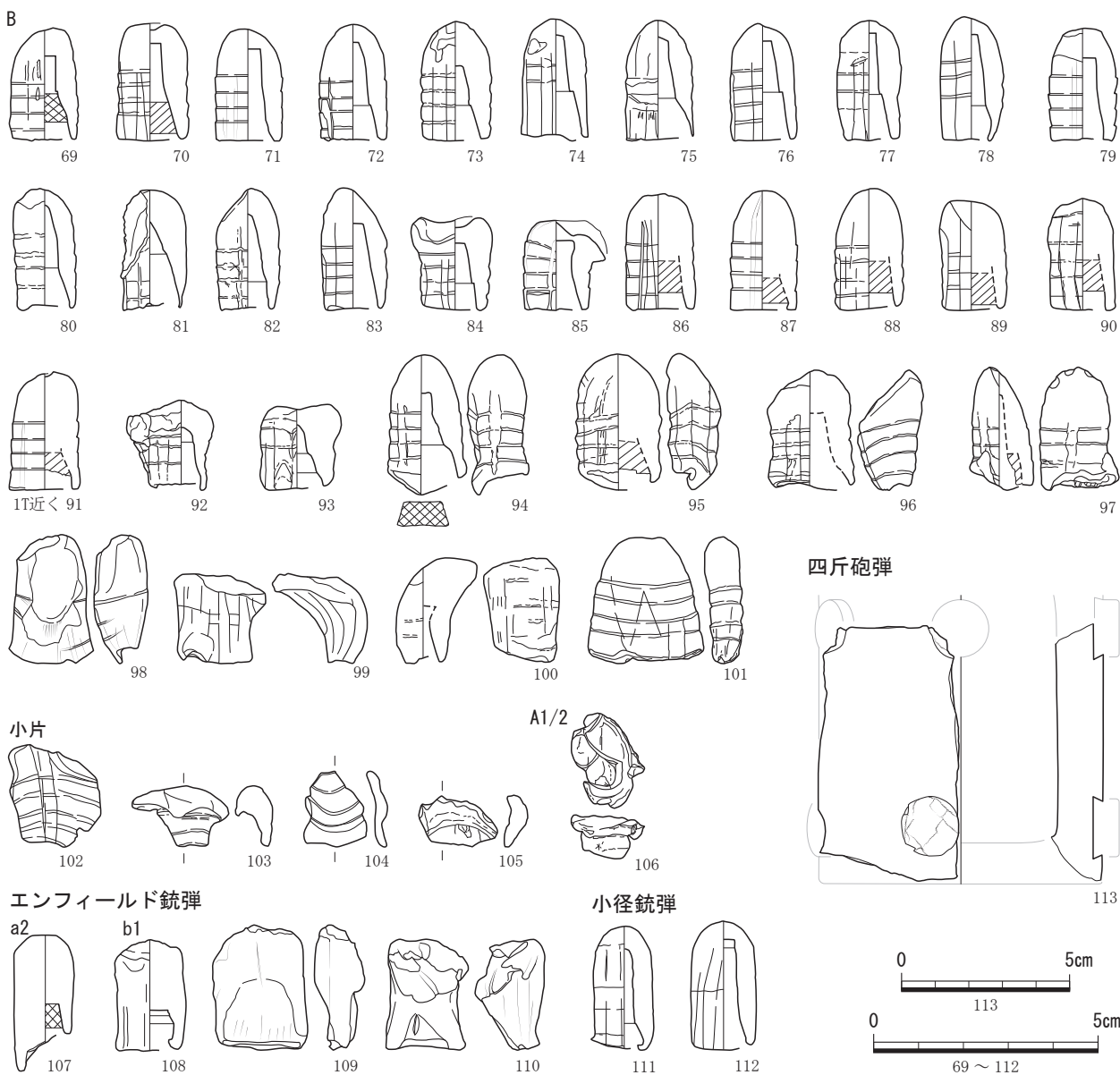
スナイドル銃弾 21



スナイドル銃弾 23



スナイドル銃弾 24



第 140 図 金属探知機採集遺物 小銃弾 2・四斤砲弾



2号溝状遺構出土土師器小皿 5



甲元先生調査指導



4号溝状遺構出土瓦質土器火鉢 6



1T 調査状況 (北より)

(2) その他の遺物

鉄製品 (第 141 図 1・2)

1は蹄鉄である。2は不明鉄製品で、3個の小鉄球を円形の薄板で挟んでいる。機械部品とみられる。

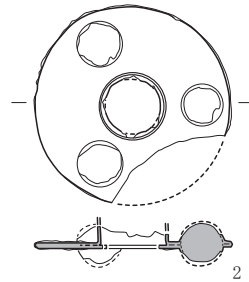
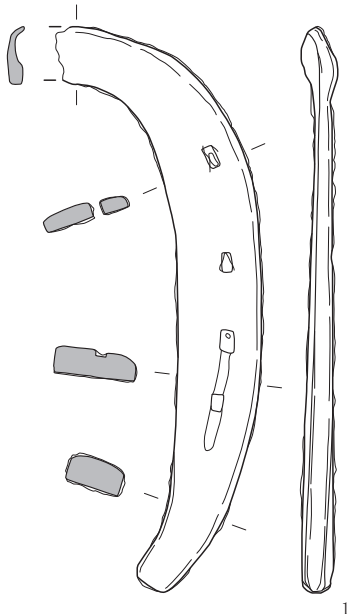
銭貨 (第 141 図 3・4)

3は寛永通宝、4は昭和 15 年銘の菊 10 銭アルミ貨である。

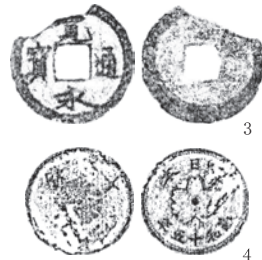
土器 (第 141 図 5・6)

5は土師器小皿である。腰部付近の器壁が厚い形状 (内面は体部～底部の境が緩やかになる) から、中世後期の所産の可能性が高い。6は瓦質土器火鉢である。

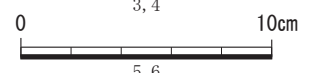
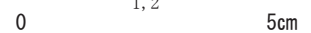
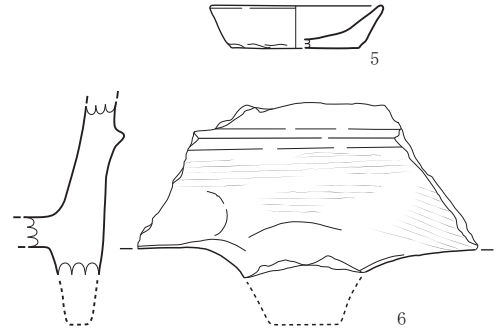
鉄製品



銭貨



土器類



第 141 図 その他の遺物 - 鉄製品・銭貨・土器



スナイドル銃弾 45



スナイドル銃弾 54



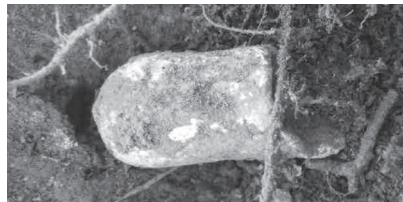
スナイドル銃弾 56



スナイドル銃弾 79



スナイドル銃弾 87



エンフィールド銃弾 107

第13表 谷村計介碑調査地 出土遺物観察表

スナイドル薬莢 (第139図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	抽筒板	計測値(mm/g)			備考	挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	抽筒板	計測値(mm/g)			備考
					現存長	径	重さ							現存長	径	重さ	
1	さ47	R1	2b	鉄	11.0	17.0	5.3		2	さ48	R2	2b	鉄	14.0	17.0	6.2	

スナイドル銃弾 (第139図～第140図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	圏溝			栓	腔綫	計測値(mm/g)			備考
				数	形	刻目			材/色	条	全長	
1	う10	Y125	P2	4	丸・鋸?	×	—	5	25.0	15.0	28.2	1T
2	う13	Y128	A1	4	鋸	×	陶/灰	不明	26.0	15.0	28.8	1T, 弾頭木栓残存有
3	さ8	Y112	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	24.7	14.1	28.3	1T
4	う9	Y124	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	28.0	15.0	28.6	1T
5	さ13	Y119	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	24.8	14.3	29.7	1T, 2溝
6	さ6	Y110	A2	4	鋸	×	—	不明	22.7	16.7	27.7	1T
7	さ34	Y118	A2	4	鋸	×	—	5	26.0	13.6	28.0	1T, 2溝
8	さ5	Y109	A2	4	鋸	×	—	5	23.1	12.3	26.6	1T
9	う12	Y127	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	25.0	15.0	27.9	1T
10	さ14	Y120	A2	4	鋸	○	陶/茶	不明	24.1	14.0	29.3	1T
11	う7	Y122	A2	4	鋸	×	—	不明	21.0	24.0	27.8	1T
12	さ4	Y108	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	17.2	27.1	28.0	1T
13	さ33	Y116	B	4	鋸	×	陶/茶	不明	24.9	14.2	29.7	1T, 2溝
14	う11	Y126	B	4	鋸	×	—	5	27.0	17.0	29.2	1T
15	さ9	Y113	B	4	鋸	×	—	5	24.4	15.5	29.2	1T, 2溝
16	さ10	Y114	B	4	鋸	×	陶/茶	5	27.2	13.8	29.8	1T, 2溝
17	さ7	Y111	B	4	鋸	×	陶/茶	5	25.2	14.4	30.3	1T, 2溝
18	さ3	Y107	B	4	鋸	×	陶/茶	5	27.0	14.4	29.6	1T
19	さ12	Y117	B	4	鋸	×	—	不明	24.2	14.1	28.6	1T, 重要 原位置 壁面に刺さった状態
20	さ15	Y121	B	4	鋸	×	陶/茶	5	25.0	14.0	26.6	1T
21	さ11	Y115	B	4	鋸	×	木	不明	29.4	16.5	30.1	1T, 2溝, 木栓外れる
22	う8	Y123	B	2	鋸	×	—	5	27.0	17.0	28.7	1T
3	さ8	Y22	P3	3	丸	×	—	5	24.0	19.2	26.4	
4	ひ11	Y50	P4	4	丸	×	—	5	26.0	15.0	31.8	
5	う4	Y20	P4	4	丸	×	—	不明	26.0	16.0	32.1	
6	わ8	Y14	A1	4	鋸	×	—	不明	19.0	20.8	29.1	弾頭木栓残存有, 弾頭木栓のおしりが四角形, 弾頭木栓外れる
7	さ5	Y10	A1	4	鋸	×	—	5	27.0	14.3	29.3	弾頭木栓残存有, 弾頭木栓動く
8	う15	Y130	A1	4	鋸	○	陶/茶	不明	25.0	23.0	29.4	弾頭木栓残存有
9	わ5	Y8	A1	4	鋸	×	陶/茶	5	25.0	16.0	29.2	弾頭木栓残存無
10	さ13	Y45	A1	4	鋸	×	—	不明	17.0	20.2	28.8	弾頭木栓残存無
11	さ2	Y106	A1	4	鋸	×	—	不明	23.4	21.0	27.0	弾頭木栓残存有, 1T 近く
12	わ27	Y95	A1	4	鋸	×	—	不明	24.0	26.0	29.7	弾頭木栓残存有
13	ひ3	Y38	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	27.5	16.0	29.0	
14	シ2	Y25	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	25.4	14.2	30.6	
15	オ2	Y23	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	27.0	15.0	29.1	
16	ひ31	Y71	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	18.0	15.0	27.9	
17	わ35	Y103	A2	4	鋸	×	—	不明	27.5	14.5	27.7	

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	圏溝			栓 材/色	腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
				数	形	刻目			全長	最大径	重さ	
18	ひ25	Y65	A2	4	鋸	×	—	5	26.5	15.0	28.1	
19	わ9	Y77	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	27.0	15.0	28.7	
20	シ3	Y17	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	24.2	14.8	29.1	
21	ケ2	Y18	A2	4	鋸	×	—	5	26.0	14.0	28.3	
22	ひ13	Y52	A2	4	鋸	○	陶/茶	不明	27.0	14.5	28.0	
23	シ1	Y28	A2	3	鋸	×	—	不明	27.5	14.5	25.6	日本製
24	わ2	Y27	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	25.0	14.5	27.8	
25	わ18	Y86	A2	3	鋸	○	—	5	26.0	16.0	28.6	
26	さ15	Y54	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	22.0	15.0	30.1	
27	ひ10	Y48	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	25.0	15.0	28.8	
28	ひ6	Y42	A2	4	鋸	×	—	5	17.0	15.0	28.4	
29	ひ33	Y73	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	16.0	15.5	27.6	
30	ひ12	Y51	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	23.5	16.0	30.1	
31	ひ9	Y46	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	24.0	16.0	28.7	
32	ひ30	Y70	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	25.5	15.0	26.9	
33	ケ1	Y26	A2	4	鋸	×	—	不明	25.0	15.0	28.2	
34	ひ34	Y74	A2	4	鋸	×	—	不明	24.0	16.0	28.5	
35	わ4	Y30	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	26.0	14.0	28.8	
36	ひ16	Y56	A2	4	鋸	×	—	5	23.5	16.0	28.6	
37	ひ22	Y62	A2	4	鋸	×	陶/灰	5	25.0	16.0	28.8	
38	う3	Y19	A2	4	鋸	×	陶/灰	5	25.0	17.0	29.5	
39	さ12	Y41	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	23.0	14.5	28.9	
40	ひ14	Y53	A2	4	鋸	×	—	5	22.5	24.0	26.2	
41	ひ36	Y76	A2	3	鋸	×	—	5	25.0	15.0	26.4	
42	ひ19	Y59	A2	4	鋸	×	—	5	25.0	15.0	28.2	
43	わ3	Y5	A2	4	鋸	○	—	5	24.0	16.2	28.6	
44	ひ8	Y44	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	22.0	25.0	28.3	
45	ひ1	Y3	A2	3	鋸	×	陶/茶	5	23.5	21.0	29.4	
46	ひ7	Y43	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	19.0	26.0	28.8	
47	わ34	Y102	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	22.0	20.0	30.1	
48	ひ28	Y68	A2	4	鋸	×	—	5	24.0	17.0	29.2	
49	わ29	Y97	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	20.5	16.5	30.0	
50	わ13	Y81	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	22.0	19.0	27.7	
51	わ7	Y33	A2	4	鋸	×	—	5	16.0	23.0	28.5	
52	ひ17	Y57	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	15.0	27.0	27.5	
53	わ15	Y83	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	14.0	35.5	28.7	
54	す2	Y1	A2	4	鋸	○	—	不明	29.0	28.5	28.0	
55	わ36	Y104	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	21.0	20.5	28.9	
56	さ7	Y16	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	16.0	24.8	29.6	
57	さ11	Y35	A2	4	鋸	○	—	不明	14.5	30.6	26.4	
58	わ25	Y93	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	31.6	18.0	28.5	
59	さ6	Y13	A2	4	鋸	×	—	5	25.0	15.0	28.2	
60	わ30	Y98	A2	4	鋸	×	—	不明	25.0	23.0	28.5	
61	わ14	Y82	A2	4	鋸	○	—	不明	34.0	20.0	28.7	
62	わ24	Y92	A2	4	鋸	○	—	不明	22.5	18.0	28.5	
63	わ31	Y99	A2	2	鋸	×	—	不明	26.5	19.5	27.7	
64	さ16	表採	A2	4	鋸	×	—	不明	23.1	19.0	29.9	
65	わ16	Y84	A2	3	鋸	○	—	不明	17.0	24.0	24.4	
66	さ14	Y49	A2	4	鋸	×	—	不明	19.0	25.6	29.0	
67	わ32	Y100	A2	4	鋸	×	—	不明	33.0	21.0	18.6	
68	ひ35	Y75	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	25.0	25.0	16.4	
69	わ1	Y9	B	4	鋸	×	木	5	24.0	15.0	28.4	木栓外れる
70	ひ4	Y39	B	4	鋸	×	陶/茶	5	26.5	16.0	29.3	陶栓外れる
71	さ4	Y6	B	4	鋸	○	—	5	24.0	14.5	30.1	
72	す1	Y15	B	4	鋸	×	—	5	25.5	14.5	29.1	
73	わ26	Y94	B	4	鋸	×	—	5	26.0	16.0	29.3	
74	ひ15	Y55	B	4	鋸	×	—	5	27.0	15.0	26.9	
75	オ1	Y24	B	3	鋸	×	—	5	26.9	15.8	28.2	
76	ひ23	Y63	B	4	鋸	×	—	5	26.0	14.0	28.1	
77	わ6	Y11	B	4	鋸	×	—	5	27.0	14.0	29.0	
78	ひ26	Y66	B	3	鋸	×	—	不明	27.5	14.0	28.5	
79	さ9	Y31	B	4	鋸	×	—	5	24.0	14.5	27.8	
80	う1	Y34	B	4	鋸	×	—	不明	27.0	14.0	29.0	
81	う5	Y12	B	4	鋸	×	—	5	26.0	15.0	28.4	日本製
82	う2	Y7	B	4	鋸	×	—	5	27.0	14.0	29.3	

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	圏溝			栓 材/色	腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
				数	形	刻目			全長	最大径	重さ	
83	ひ24	Y64	B	4	鋸	×	—	5	18.0	15.0	26.9	
84	ひ20	Y60	B	4	鋸	×	—	5	21.0	18.5	28.2	
85	す3	Y2	B	4	鋸	×	—	5	20.0	19.0	30.2	
86	ひ27	Y67	B	4	鋸	×	陶/茶	5	21.0	15.5	29.2	
87	さ3	Y4	B	4	鋸	×	陶/茶	5	26.0	14.5	30.6	
88	ひ29	Y69	B	4	鋸	×	陶/茶	5	27.0	15.0	29.4	
89	ひ21	Y61	B	3	鋸	×	陶/茶	5	19.5	15.0	28.9	
90	わ10	Y78	B	4	鋸	×	陶/茶	5	25.0	15.0	28.8	
91	さ1	Y105	B	4	鋸	×	陶/茶	5	25.4	13.7	29.9	1T近く
92	う6	Y36	B	4	鋸	×	—	不明	20.0	19.0	29.1	
93	わ12	Y80	B	4	鋸	×	—	5	19.0	18.0	28.9	
94	う16	Y131	B	4	鋸	×	木	不明	31.0	17.6	28.6	木栓外れる
95	わ33	Y101	B	4	鋸	×	陶/灰	不明	30.0	19.0	29.9	
96	わ17	Y85	B	4	鋸	×	—	5	27.0	20.0	28.1	
97	う14	Y129	B	4	鋸	×	陶/茶	不明	27.0	17.8	29.0	
98	さ10	Y32	B	4	鋸	×	—	不明	28.0	19.2	28.1	
99	ひ32	Y72	B	4	鋸	×	—	5	19.0	21.0	28.7	
100	わ22	Y90	B	3	鋸	×	—	不明	23.0	18.0	29.2	
101	わ19	Y87	B	4	鋸	×	—	5	28.0	25.5	30.1	
102	ひ2	Y37	小片	4	—	—	—	不明	22.0	20.4	5.9	
103	わ21	Y89	小片	4	—	—	—	不明	13.0	21.0	8.2	
104	ひ18	Y58	小片	3	—	—	—	不明	17.0	14.0	2.9	
105	わ28	Y96	小片	1	—	—	—	不明	11.0	18.0	4.9	
106	わ23	Y91	A1/2	2	鋸	×	—	不明	10.0	21.0	7.9	

エンフィールド銃弾 (第140図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	栓 材/色	腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
						全長	最大径	重さ	
107	さ16	Y21	a2	木	5	29.6	13.0	31.3	キャスト弾、発砲時変形度1、中高タイプ(鉛不足)、木栓外れる
108	わ20	Y88	b1	—	5	25.0	16.0	33.6	
109	さ17	Y29	b1	—	不明	27.0	20.4	28.3	
110	さ18	Y47	b1	—	不明	24.0	17.8	27.1	

その他の銃弾 (第140図)

挿図 No.	実測 No.	種類	取上 No.	圏溝		腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
				数	形		全長	最大径	重さ	
111	わ11	小径銃弾	Y79	1	鋸	5	27.0	13.5	27.1	元はスナイドル銃弾、B
112	ひ5	小径銃弾	Y40	2	鋸	5	28.0	15.0	28.5	元はスナイドル銃弾、B、陶栓/茶

砲弾 (第140図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	計測値(mm/g)			備考
				縦	横	重さ	
113	さ49	BL1	胴部	73.0	46.0	230.0	

1T出土の鉄製品 (第138図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	長さ※mm (残存長)	重さ ※g	備考(mm)
23	す1653	B3	鉄鉢	(43)	1.2	口径(105)

その他の遺物—鉄製品ほか (第141図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	長さ※mm (残存長)	重さ ※g	備考	挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	長さ※mm (残存長)	重さ ※g	備考
1	す1651	B1	蹄鉄	150	105.0		2	す1652	B2	不明鉄製品	52	25.4	

その他の遺物—銭貨 (第141図)

挿図 No.	取上 No.	拓本 No.	銭種	年銘・初鋳年	計測値(mm)			備考
					外径/内径	方孔縦/横	厚さa/b/c	
3	BR2	う524	寛永通宝(新寛永), 旧享保10万坪銭	宝永4年以前	24.7 / 20.0	6.0 / 6.2	— / 0.8 / 0.8	
4	BR1	う594	菊10銭アルミ貨	昭和15年	直径22.1	厚さ1.7		

その他の遺物—土器 (第141図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	焼成形態	器種	口径	底径	器高	備考
					※cm,	( )内復元値		
5	中1	—	土師器	小皿	(6.8)	(5.1)	1.7	1T出土 中世後期(15・16c?) 磨耗 外: 体部ナデ, 底部回転糸切離し 内: 体部回転ナデ
6	中2	GR3	瓦質土器	火鉢	—	—	—	14c~17c前半 外: 体部下位ハケメ(4~5本/cm) 後担いナデ, 脚基部ユビ押え・ナデ 内: ナデ